

広島県知的障害者福祉協会 平成30年度事業報告

はじめに

昨年4月、社会福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るために実施された社会福祉法人制度改革と併せて、地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりや包括的な支援に向けた各種の法律改正が行われた。このような中、障害福祉においては、平成30年度障害福祉サービス等の報酬改定が明示された。障害者の重度化・高齢化、医療的ケア児等の増加などに伴い、利用者の多様化の中、個々のニーズに応じたサービス提供体制の整備が図られる報酬改定となっていることを期待する。

また、一昨年の相模原市の障害者支援施設における痛ましい事件以後、共生社会の推進に向けた取り組みの方向性として、障害者差別解消法の理念の周知・啓発、「心のバリアフリー」の充実、障害者の地域移行や地域生活の支援等が示されるとともに、施設として、職員が心身共に疲弊して孤立することなく、充実感や誇りを抱いて働ける環境作りや職員研修の更なる推進と心の健康管理の強化等による職場環境の改善に向け、この1年、本協会としても、各種の情報提供を行うとともに、会員相互の連携を図りながら、真摯に対応していかなければならない。

そして、これらの動勢を熟慮した上で、支援部会活動と業務部会活動の連携を図りながら、各種の課題検討、研修計画、政策提言などを積極的、効果的に実施することが必要とされている。

施設や地域で生活している障害（特に知的障害、発達障害）のある人たちの尊厳が守られ、豊かな生活が送れるよう、確固たる倫理観を持って支援にあたるとともに、会員相互に協力し合いながら、知的障害福祉の推進に努めなければならない。

1. 基本方針

すべての本協会会員が、共通理解の下、連携した活動を通して、個々の必須課題として意識し、能動的に参加し、利用者、地域、行政などにとっての本協会の有用性を高める為に、以下の活動を基本とする。

- (1) 障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指して、地域社会全体の思いが繋がり合う環境作りに貢献する。
- (2) 本協会への積極的な加入を促進し、活動基盤の強化を図る。
- (3) すべての会員が本協会への帰属感が持てるように、活動内容や活動方法について、配慮を行う。
- (4) 障害福祉理念や関係施策、更には障害福祉を取り巻く社会情勢などについて、意欲的に研鑽する場を設ける。
- (5) 支援の対象である人たちのニーズや思い、そして地域の人々の障害福祉についての意識や意向、また、新たな障害福祉の必要性について把握し、認識するように努める。（実態調査やニーズ調査など）
- (6) 支援に携わる人材（職員）の資質（専門性と意識）の向上と職場定着を図るための効果的な対策等の検討を行う。
- (7) 個々の会員の経営課題等の改善に資する情報交換、人材交流、相互協力を

促進する。

- (8) 社会福祉法人における地域貢献、経営改善、人材確保、県行政への要望等について、広島県社会福祉協議会をはじめとして、関係諸団体との連携の下に、対応策等の検討を行う。
- (9) 本協会会員は、(公財) 日本知的障害者福祉協会の定款及び会員準則等を遵守しなければならない。

2. 重点課題

- (1) 各種の養成研修（サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者、相談支援従事者研修、行動援護従事者養成研修及び各種国研など）へのグループリーダー等の派遣に協力すると共に、障害福祉サービスの「質の向上」や障害福祉従事者としての遣り甲斐感・充実感を得られることを目的に、広島県身体障害者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会、広島県障害者相談支援事業連絡協議会、広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会等と連携・協力を図りながら参画・協力する。
- (2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の理念を周知・啓発に向けた各種の研修等を実施する。
- (3) 福祉人材確保の対策について検討協議を行う。
- (4) 障害者のスポーツ・文化芸術への参画・協力をする。
 - ① あいサポートアート展開催にむけて、協力・参加する。
 - ② あいサポートふれあいコンサート開催にむけて、企画・実施する。
 - ③ 広島県障害者スポーツ協会主催事業への参画・協力をする。
- (5) 平成 30 年度における本協会主催、若しくは本協会支援部会・業務部会主催の各種研修会については、成功裡に迎えられよう、会員相互の協力を図る。
- (6) 支援部会、業務部会の活動の活性化を図るために、それぞれに委員を登用し、幅広い人材の参画により協会活動を充実させる。
- (7) 本協会の事業が確実に実施され、成果を上げるように、適時適切に、その事業の進行管理を行い、必要に応じて会員相互の協力態勢の構築や事業計画の再検討などの善後策を講じる。
- (8) 本協会の活動に関係深い関係団体等とは、従来に引き続き連携を図る。
 - ① 広島県社会福祉協議会
 - ② 広島県身体障害者施設協議会
 - ③ 広島県精神障害者支援事業所連絡会
 - ④ 広島県障害者相談支援事業連絡協議会
 - ⑤ 広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会
 - ⑥ 広島県手をつなぐ育成会
 - ⑦ すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議
 - ⑧ 広島県障害者スポーツ協会
 - ⑨ 広島県社会福祉施設経営者協議会
 - ⑩ 広島県災害時公衆衛生チーム
 - ⑪ 広島県就労振興センター
 - ⑫ 広島県発達障害者支援センター

⑬広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会

なお、本協会主催の学習会等において、他団体等にも共通する内容のものについては、参加人数の余裕のある場合には参加を呼びかけることを検討する。

3. 事業

(1) 総会・役員会の開催

(2) 各支援部会の開催

[児童発達支援部会]

[障害者支援施設部会]

[日中活動支援部会]

[生産活動・就労支援部会]

[地域支援部会]

[相談支援部会]

[支援スタッフ部会]

(3) 各業務部会の開催

[政策・調査・研究部会]

[人権・倫理部会]

[人材育成・研修部会]

[事業部会]

[総務部会]

(4) 第 50 回中国地区知的障害関係施設長会議への参加

平成 30 年 4 月 19 日・20 日

松江テルサ、松江エクセルホテル東急

(5) 平成 30 年度全国知的障害関係施設長等会議への参加

平成 30 年 7 月 2 日・3 日

東京国際フォーラムホール

(6) 第 60 回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会への参加

※第 56 回全国知的障害関係職員研究大会（山口大会）と兼ねる

平成 30 年 11 月 14 日～16 日

山口市民会館ほか

(7) 広島県障害者陸上競技大会への参加

平成 30 年 5 月 13 日

東広島運動公園陸上競技場

(8) 第 58 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会への参加

平成 30 年 9 月 24 日

岡山県総合グラウンド・体育館ジップアリーナ岡山 フェアレーン岡山

(9) 第 18 回全国障害者スポーツ大会「ふくい大会」ソフトボール

中国・四国地区予選会への参加

平成 30 年 5 月 5 日・6 日

山口維新公園グラウンド

- (10) 第18回全国障害者スポーツ大会への参加
平成30年10月13日～15日
9. 98 スタジアム (福井県営陸上競技場)
ソフトボール (知的): 武生東運動公園ソフトボール場
- (11) 第7回きらっと光る人生を考える研究大会の実施
平成30年12月15日 広島市総合福祉センター
- (12) 第44回広島県知的障害者福祉大会 (神辺大会)
第17回はつらつ大会本人大会 (神辺大会)
平成30年10月28日 神辺文化交流センター
- (13) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催
「第5回全国小・中学生障がい福祉作文コンクール」 募集協力
応募数: 小学校【2校3作品】 中学校【5校83作品】
表彰: 学校賞 中学校【神辺中学校】 小学校【広島市立祇園小学校】
- (14) 県内3地区親善行事 (西部・中部・東部) 球技大会等の開催
- (15) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催における各支援部会の全国・地区会議・大会等への参加
- (16) 広島県知的障害者福祉協会 総会及び施設長会議の開催
平成30年5月25日 広島ガーデンパレス
平成31年3月12日 広島ガーデンパレス
- (17) あいサポート アート展への参画・協力
平成30年10月30日～11月4日 県立美術館
平成30年11月27日～12月2日 ふくやま美術館
- (18) 第2回あいサポート ふれあいコンサート in ふくやまの開催
平成30年9月9日 神辺文化会館大ホール
- (19) 「介護の日」フェスタ IN 広島への参画・協力
平成30年11月25日 県立広島総合体育館大アリーナ
- (20) 日本発達障害学会第53回研究大会への協力・参加
平成30年8月11日・12日 福山市立大学

4. 「平成30年7月西日本豪雨災害」における経過及び対応報告

(1) 経過

7月6日・夕方から未明にかけて県内全域に集中豪雨発生

【午後7時40分 県内 大雨特別警報発令】

7日・事務局より「広島県豪雨災害に係る状況について」発出

10日・府中町榎川氾濫のため、午前11時過ぎ、緊急避難放送がある。

・県障害者支援課より「広島県災害時公衆衛生チーム」への協力伺い。

11日・経営協／業種別7団体より「支援物資等提供協力について」発出

・日本知的障害者福祉協会より被災状況の報告要請。

12日・県「在宅要援護障害者 (児) に対する支援について」記者発表

趣旨: 「広島県災害時公衆衛生チームへの協力に関する協定」に基づき
県内の障害者団体の協力の下、相談支援専門員等による支援を実施。

派遣先：坂町（7月13日～7月21日）

- ・本協会相談支援部会長に派遣協力の連絡。
- ・日本知的障害者福祉協会へ被災状況を報告。
- 13日・広島県知的障害者福祉協会相談支援チーム／広島県災害時公衆衛生チームを柏学園内に設置する。（7月13日～8月18日）
- ・前日の坂町と同様の内容で、海田町（7月14日～7月17日）への派遣要請。
- ・広島県身体障害者施設協議会会長、広島県精神障害者支援事業所連絡会会長、広島県障害者相談支援事業連絡協議会会長に派遣協力依頼を行い、本チーム事務局を柏学園内に置く。
- ・チーム事務局（柏学園）より「短期入所受入について（調査）」発出
- 16日・厚生労働省社会援護局障害保健福祉部企画課監査指導室長「公衆衛生チーム」の視察。
- 19日・日本知的障害者福祉協会より現況報告要請。
- ・日本知的障害者福祉協会より義捐金依頼発出及び支援金入金。
- 23日・事務局より「被災状況再調査及び罹災状況調査」発出
- 24日・厚生労働省社会援護局保護課自立推進・指導監査室生活保護観察官「被災したGH等」の視察。
- 30日・災害時公衆衛生チーム派遣名簿等を県障害者支援課へ提出。
- 31日・日本知的障害者福祉協会へ罹災状況の報告。
- ・熊本県知的障害者福祉協会より義捐金送付の連絡が日本知的障害者福祉協会事務局長より連絡。
- 8月1日・東京都社会福祉協議会（東京都発達障害支援協会共同）知的/発達障害部会災害対策委員会委員長ほか3名（～3日まで）来広。（県社協にて、本協会会長と事務局課長で、状況説明と意見交換を行う。）
- 2日・障害者支援関係4団体連絡協議会開催（13時～15時）して、「災害時公衆衛生チーム」協力の検証。
- 3日・顧問及び正副会長会議12時より開催。
- ・広島県知的障害者福祉協会理事会開催。
- (2)「7月豪雨災害対策特別委員会」設置 ※8月度理事会承認
構成員：正副会長及び顧問
開催日：平成30年9月19日（水）、11月2日（水）、1月11日（金）
検討事項：
 - (1)被災状況：4圏域11施設・事業所
 - (2)義捐金の取り扱いについて
 - ・日本知的障害者福祉協会支援金 1,000,000円
 - ・熊本県知的障害者福祉協会 300,000円
 - ・日本知的障害者福祉協会義捐金 15,903,840円
 - (3)被害総額：12施設・事業所 61,185,000円
- ※2月度理事会承認後、各施設・事業所へ配分を行う。
- (3)「災害時等における安心を共に支え合う相互協力に関する協定」
目的：広島県及び広島県内の社会福祉施設等を会員とする団体と広島県社会福

祉協議会とは、災害時等における安心を共に支え合う相互協力体制の構築を図ることを目的とする。

関係団体：13 団体

締結日時：平成 31 年 3 月 26 日 於）県庁

5. 総括

7 月 6 日、西日本豪雨災害による未曾有の自然災害に対応するため、各業種別団体との連携を模索し、業種別代表者会議等の議論を通して、災害等における連携協力の重要性や具体性の構築を図ることを目的として、広島県との協定署名を行う。

支援の質の向上に向けて、県自立支援協議会主催の各養成研修のファシリテーター等の派遣協力を積極的に行う。また、今年度から、「強度行動障害支援者養成研修」を実施した。

全国障害者スポーツ大会ソフトボールで広島県代表チームが優勝したことから、今後は、広島県障害者ソフトボール協会（仮称）設立に向けて、関係機関の理解を得ながら努力する。

事業

1. 会議の開催

(1) 総会の開催

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
1	平成 30 年 5 月 25 日	広島ガーデンパレス	(1) 平成 29 年度事業報告 (案) について (2) 平成 29 年度収支決算 (案) について (3) 規約変更 (案) について	出席 125 人 委任 56 人
2	平成 31 年 3 月 12 日	広島ガーデンパレス	(1) 平成 30 年度収支補正 予算 (案) について (2) 2019 年度事業計画 (案) について (3) 2019 年度収支予算書 (案) について	出席 126 人 委任 58 人

(2) 役員会等の開催

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
1	平成 30 年 4 月 24 日	県社会福祉会館	(1) 平成 30・31 年度業務部会担 当理事選任について (2) 平成 30・31 年度顧問選任に ついて (3) 平成 29 年度事業報告・収支決 算について (4) 平成 30・31 年度地方会施設・ 事業種別代表者及び支援スタ ッフ委員会 (従事者) 代表者に ついて (5) 本協会規約変更について (6) 『介護給付費等の支給決定等 について』等の一部改正について (7) 平成 30 年度第 1 回総会につ いて	21 人
2	平成 30 年 6 月 27 日	県社会福祉会館	(1) 強度行動障害支援者養成研修の 実施について 特別委員会の設置について (2) 各種研修会におけるファシリ テーター派遣について (3) 平成 30 年度補正予算について	21 人

	開催年月日	会 場	主 な 議 事	出席状況
2	平成 30 年 6 月 27 日	県社会福祉会館	(4) 平成 31 年度県福祉予算に対する要望事項について (5) 平成 30 年障害者虐待防止権利擁護指導者養成研修について (6) 広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会の取り組みについて (7) 平成 31 年度(第 51 回)中国地区知的障害関係施設長会議について (8) 平成 31 年度(第 58 回)中国地区知的障害関係施設親善球技大会について (9) 各部会からの報告	21 人
3	平成 30 年 8 月 3 日	県社会福祉会館	(1) 平成 31 年度県福祉予算に対する要望事項について (2) 強度行動障害支援者養成研修の実施について (3) 平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害について (4) 平成 30 年度あいサポート・ふれあいコンサート in ふくやまについて (5) 各部会報告 (6) その他	20 人
4	平成 30 年 9 月 19 日	県社会福祉会館	(1) 平成 31 年度県福祉予算に対する要望事項について (2) 強度行動障害支援者養成研修の実施について (3) 平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害について (4) 第 51 回中国地区知的障害関係施設長会議(平成 31 年度 5 月) (5) 介護の日イベントについて (6) 全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール応募作品の審査について (7) 月刊誌『さぽーと』原稿依頼について (8) 各部会報告について (9) その他	19 人

	開催年月日	会 場	主 な 議 事	出席状況
5	平成 30 年 11 月 2 日	県社会福祉会館	(1) 平成 30 年度 全国会長・事務局 長会議の報告について (2) 平成 30 年度第 2 回総会・研修 会について (3) 全国小・中学生障害福祉ふれあ い作文コンクールについて (4) 各部会報告について (5) その他	20 人
6	平成 30 年 12 月 13 日	リム・福山 セミナールーム B (7F)	(1) 第 51 回中国地区知的障害者 関係施設長会議について (2) 行動援護従事者養成研修に ついて (3) 平成 30 年度第 2 回総会・ 研修会について (4) ホームページのリニューアル について (5) 各部会報告について (6) その他	17 人
7	平成 31 年 2 月 19 日	南区役所別館 小会議室 (4 階)	(1) 平成 30 年度収支補正予算 (案) 及び 2019 年度事業計画並びに 収支予算について (2) 第 51 回中国地区知的障害関係 施設長会議について (3) 平成 30 年度 7 月豪雨災害義援 金の配分について (4) あいサポートふれあいコンサ ート in ふくやまの報告につい て (5) ホームページ開発について (6) 災害時における安心・安全に 向けた相互協力に関する協定 について (7) 2019 年度第 1 回総会について (8) 部会報告について (9) その他	17 人

2. その他会議等の開催

平成 30 年度監事会

期 日 平成 30 年 4 月 16 日

会 場 県社会福祉会館

内 容 (1)平成 29 年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
(2)その他

出席者 会長, 監事 3 人, 事務局 2 人

第 1 回正副会長会議

期 日 平成 30 年 8 月 3 日

会 場 県社会福祉会館

内 容 (1)平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害後の対応について
(2)その他

出席者 会長, 副会長, 顧問, 事務局

第 2 回正副会長会議

期 日 平成 30 年 9 月 19 日

会 場 広島県社会福祉会館

内 容 (1)平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害に係る義援金の取扱いについて
(2)その他

出席者 会長, 副会長

第 3 回正副会長会議

期 日 平成 30 年 11 月 2 日

会 場 広島県社会福祉会館

内 容 (1)平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害義援金の取扱いについて
(2)その他

出席者 会長, 副会長

第 4 回正副会長会議

期 日 平成 31 年 1 月 11 日

会 場 広島県社会福祉会館

内 容 (1)平成 30 年度 7 月広島県豪雨災害義援金の配分について
(2)その他

出席者 会長, 副会長, 顧問

3. 予算・政策要望活動

広島県社協社会福祉制度・予算対策委員会への出席

支援部会

■児童発達支援部会

方針：乳幼児期、学齢期、青年前期における切れ目のない支援と保健、医療、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制を図る観点から、個々の課題やその家族の状況及びニーズに応じて、障害児支援等の質の向上を図ることを目指す。そして、通所支援、入所支援の中で、各種の研修会等を重ねながら、施設機能の多様性や職員の専門性の向上を図り、併せて、障害児相談支援の充実について、各種の検討協議を行う。

通所施設分科会

方針：通所支援（①児童発達支援、②居宅訪問型児童発達支援、③放課後等デイサービス、④保育所等訪問支援）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

具体的には、①支援の質の保障 ②家族支援の重要性 ③保育所等との併行通園に係る支援及び保育所等訪問支援の充実 ④学校との連携について ⑤保護者の就労支援等について、⑥医療的ケア児への対応等 ⑦障害児等療育支援事業など各種の情報交換を行う。

併せて、障害児相談支援における事業体制の整備協力、質の保障、相談スキルの向上等について、各種の検討協議を行う。

入所施設分科会

方針：入所支援・通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。また、18歳以上の利用者の経過措置期間が延長（令和3年3月まで）され、加齢児の成人サービスへの移行には、県と市町が連携を図り、成人施設、障害福祉サービス事業所と理解・協力を得ながら、障害児入所施設へ入所した後から退所後の支援を見据えた連絡調整の充実に向けた各種の検討協議を行う。

具体的には、①一定の目的を持った短期入所（有期限・有目的）について ②強度行動障害を有する児童への対応強化について ③社会的養護の必要な障害児への対応 ④小規模入所における課題について ⑤加齢児の成人サービスへの移行について各種の検討協議を行う。

（1）施設長会議の実施（部会事業）（分科会事業）

（2）職員研修会の企画／実施（部会事業）（分科会事業）

（3）各種団体との意見交換会の企画／実施（部会事業）

1. 施設長会議

(1) 児童発達支援部会第1回施設長会議

期 日：平成30年5月9日

会 場：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：20人

内 容：①平成29年度事業報告・決算について
②平成30年度の事業について
 (ア)通所支援 (イ)入所支援
③情報交換
④その他

(2) 児童発達支援部会第2回施設長会議

期 日：平成31年2月12日

会 場：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：22人

内 容：①2019（平成31）年度児童発達支援部会事業計画及び予算(案)について
②2019（平成31）年度中国地区施設長会議開催について
③情報交換
④その他

2. 通所支援分科会

(1) 【講演会】 担当：草笛学園

期 日：平成30年7月20日

会 場：備後地域地場産業振興センター

参加者：169人、85人

内 容：「ステキをみつける保育・療育・子育て」

(2) 【研修会】 担当：「ゼノ」こばと園

期 日：平成30年9月1日

会 場：福山市西部市民センター

参加者：135人

内 容：「発達に課題のある子どもたちの理解と取り組み」

3. 入所支援分科会

(1) 第1回施設長会議

期 日：平成30年5月11日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：施設長、支援スタッフ等

内 容：①座長選任について
②平成30年度の活動について
③その他

(2) 第2回施設長会議

期 日：平成30年10月26日

会 場：六方学園

参加者：施設長、支援スタッフ等 16人

内 容：①六方学園施設見学

②緊急報告

③全国児童発達支援部会の確認報告

④その他

※支援スタッフに関しては見学後学習会を実施

事業総括

通所支援、入所支援分科会とも各種の研修会を実施することが出来、県内の支援における共通理解や支援の質の確保に貢献することが出来た。しかし、主な事業計画の一つであった児童相談所との意見交換と公開療育について、諸般の事情により、実施出来なかったことは、深く反省し、次年度は必ず実施出来るように努力する。

■ 障害者支援施設部会

方針：目標数値が小さくなったとはいえ、第5期障害福祉計画では引き続いて地域生活移行の推進と施設入所者数の削減が掲げられている。一方で入所施設は、地域を拠点として重要な役割を担うことになるという期待が寄せられている。こうした期待される役割に対して成果を問われることになるが、今年度も引き続き部会施設間のネットワーク作りと、専門性を高めるための研修会等を実施し、支援力と対応力の強化に取り組む。今後、地域における包括的な支援体制作りが推進される中で、地域課題解決のための具体的な役割を模索しつつ、入所施設の使命を果たしていきたい。

1. 施設長会議 年2回

【第1回】

時期：平成30年6月6日

内容：①「障害者支援施設入所調整」改善後の内容について（説明）

説明者：広島県健康福祉局 障害者支援課

事業者指導グループ主幹 山根 氏

②平成30年度 各研修会の企画について協議

・保健衛生・給食担当職員研修

・支援施設部会セミナー

③広島県強度行動障害支援者養成研修会の受託について検討

④その他・意見交換

場所：広島市南区役所別館

参加者 25人

【第2回】

時期：平成31年1月17日

内容：①平成30年度事業総括

②平成30年度 事業計画・予算（案）について協議

平成30年度 決算状況について報告

③平成31年度 各研修会の企画（案）について協議

・保健給食担当職員研修

・支援施設部会セミナー

④第51回中国地区知的障害関係施設長会議（広島大会）

（平成31年4月18日・19日）の開催について協議

⑤その他・情報交換

場所：広島市南区役所別館

参加者 19人

2. 研修会 年2回

【第1回】

保健衛生・給食担当職員研修会（担当事務局：中国芸南学園第一成人部）

時 期：平成30年8月31日（金）10：00～

内 容：テーマ「発達障害児における偏食、食事の問題と支援について」
～なぎさ園の取り組みから～

講師：広島市西部こども療育センターなぎさ園

管理栄養士 藤井 葉子 氏

場 所：東広島芸術文化ホールくらら

参加者：73人

【第2回】

広島県障害者支援施設セミナー（担当事務局：光清学園）

時 期：平成30年10月12日（金）10：30～

内 容：テーマ「地域における包括的な支援体制作りを考える」

講 演：社会福祉法人 シンフォニー

理事長 村上 和子 氏

行政説明：広島市 障害自立支援課

廿日市市

実践報告：相談支援事業所 ネクストライフ

障がい福祉相談センターきらりあ

場 所：広島市南区地域福祉センター 大会議室

参加者：73人

事業総括

障害者支援施設の入所決定の公平性、客観性を確保し、真に入所を必要とする方が円滑に入所できる仕組みをめざして入所調整の改善について広島県障害者支援課と協議した。

支援施設特有の研修である保健衛生・給食担当職員研修を前年度に引き続き実施し、会員施設の課題や悩みをグループワークで出し合い、それぞれの事業所が抱える食事の問題について話し合った。

また、各市町村に設置が求められている地域生活支援拠点等事業における障害者支援施設の役割について考えるセミナーを企画した。先進地の事例を学ぶとともに県内で先駆的に行っている市町の担当者・相談支援事業所等の取り組みを聴くことによってこれからの地域での役割について考えるよい機会となった。

今後も障害者支援施設の役割と使命が果たせるよう部会会員の研鑽の場とする。

■ 日中活動支援部会

方針：日中活動支援部会には生活介護を中心とした事業所が多く関係している。重度・高齢の障害者などの支援内容を工夫しながら、日中活動の場としての役割を充実していくことが重要となっている。とりわけ自分の意思をうまく表現することが困難な人たち一人ひとりの意思決定の可能性を大切にした活動を支援するため会員施設間で連携を深めながら今後の日中活動における支援の在り方や利用者満足度向上を図るため、情報の収集や情報交換に努めながら充実した各種研修会を行っていく。

1. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 第1回合同施設長会議

日 時 平成30年5月15日

場 所 広島県社会福祉会館 会議室1

参加者 21人

内 容 ①研修会計画について
②今後の活動について
③情報（意見）交換

2. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会、地域支援部会の合同施設長研修会

日 時 平成30年7月26日

場 所 広島県社会福祉会館 会議室4・5

参加者 40人

内 容 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定を踏まえ就労支援・共生型サービス・意思決定支援等の方向性について

講 師 （公財）日本知的障害者福祉協会 事務局長 末吉 孝徳 氏

3. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 （合同研修会）

日 時 平成30年9月22日

場 所 広島県健康福祉センター

参加者 33人

内 容 ビジネスマナー研修

講 師 もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

4. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 合同研修会

日 時 平成30年10月6日

場 所 福山市生涯学習プラザ ローズコム

参加者 31人

内 容 クレーム対応研修

講 師 もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

5. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 第2回合同施設長会議

日 時 平成30年10月16日

場 所 福山市西部市民センター第2学習室

参加者 20人

内 容 ①職員研修会について

②第56回全国知的障害者福祉関係研究大会（山口）について

平成30年度日中活動支援部会全国大会（横浜）について

③情報（意見）交換

6. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 合同職員研修会

日 時 平成30年12月4日

場 所 広島県社会福祉会館2階会議室

参加者 38人

内 容 元気がでる職員研修会 パート職員対象（一般職員含む）

講 師 トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校

介護福祉課 学科長 吉岡 俊昭 氏

7. 日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会 第3回合同施設長会議

日 時 平成31年2月5日

場 所 広島県社会福祉会館 会議室4・5

参加者 19人

内 容 ①2019年度事業計画について

②第51回中国地区知的障害者関係施設長会議（広島）について

③情報（意見）交換

事業総括

平成30年度活動方針に基づいて生産活動・就労支援部会と合同で施設長、管理者会議や利用者個々に応じたサービスの向上を目指し意思決定支援の充実や「65歳問題」と共生型サービスの在り方、又、パート職員対象（一般職員含む）とした研修会等、開催することができ一定の成果があった。今後も情報の収集や分析に努め更なる活動に繋げていく。

■生産活動・就労支援部会

方針：近年、就労系事業所の使命として、一般企業への就労はもとより重度者・高齢者に配慮した福祉的就労が求められてきている。

今回の報酬改定では就労定着支援の新たな創設、A型は平均労働時間、B型は平均工賃実績に応じた報酬が設定されるなど、ますます事業所の真価が問われる結果となっている。

これらに対し、就労系事業所が連携して情報共有、研修などを通して諸般の課題解決にしっかりと取り組んでいく。

1. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会

日 時 平成 30 年 5 月 14 日

内 容 「個別支援計画配慮型」工賃向上計画策定研修

講 師 インサイト 代表取締役 関原 深 氏

場 所 広島市総合福祉センター

参加者 31 人

2. 第 1 回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

日 時 平成 30 年 5 月 15 日

内 容 ①平成 30 年度活動内容

②情報・意見交換

場 所 広島県社会福祉会館

参加者 21 人

3. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会 3 部会合同研修会)

日 時 平成 30 年 7 月 26 日

内 容 中央情勢報告について

講 師 日本知的障害者福祉協会 事務局長 末吉 孝徳 氏

場 所 広島県社会福祉会館

参加者 40 人

4. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同研修会)

日 時 平成 30 年 9 月 22 日

内 容 ビジネスマナー研修

講 師 もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所 広島県健康福祉センター

参加者 33 人

5. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同研修会)

日 時 平成 30 年 10 月 6 日

内 容 クレーム対応研修

講 師 もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所 福山市生涯学習プラザ ローズコム

参加者 31 人

6. 第 2 回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

日 時 平成 30 年 10 月 16 日

内 容 ①職員研修会

②全国知的障害福祉関係職員研究大会 (山口)

③情報・意見交換

場 所 福山市西部市民センター

参加者 20 人

7. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会

日 時 平成 30 年 11 月 2 日

内 容 工賃向上実践報告研修会 (工賃底上げ研修公開講座)

講 師 社会福祉法人武蔵野千川福祉会 施設長 新堂 薫 氏

場 所 広島県健康福祉センター

参加者 36 人

8. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同研修会)

日 時 平成 30 年 12 月 4 日

内 容 「元気になる職員研修会」 パート職員対象 (一般職含む)

講 師 トリニティカレッジ 吉岡 俊昭 氏

場 所 広島県社会福祉会館

参加者 38 人

9. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会

日 時 平成 31 年 1 月 25 日

内 容 「個別支援計画配慮型」工賃向上計画策定研修

講 師 インサイト 代表取締役 関原 深 氏

場 所 南区地域福祉センター
参加者 17 人

10. 第3回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

日 時 平成31年2月5日

内 容 ①平成31年度事業計画

②第51回中国地区知的障害関係施設長会議(広島)

③情報・意見交換

場 所 広島県社会福祉会館

参加者 19 人

事業総括

昨年度同様、施設長・管理者会議、職員研修会を日中活動支援部会と合同で行った。工賃底上げ研修、先進事例に学ぶ研修会や情報交換会を開催した。

初めての試みとしてパート職員対象(一般職員も含む)の研修を実施したが、好評であったため次年度も行いたい。職域を超えてより支援力の充実を図っていく。

■地域支援部会

方針：重度・高齢化が進むなか、住み慣れたグループホームで安心して暮らしているよう、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みを作っていく必要があることから、可能な限り、グループホームや居宅事業所において、事例に基づいた研修を進めスキルアップを目指していく。

さらに、関係組織・団体等の連携に努め、地域における暮らし、相談支援体制の充実に向けてのネットワークづくりを進めていく。

1. 地域支援部会会議・研修会

(1) 時 期：平成 30 年 7 月 26 日

(日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会との合同研修会)

場 所：広島県社会福祉会館

参加者：50 人

内 容 1. 研修会 テーマ「意思決定支援」について

講師：末吉 孝徳 氏

(2) 時 期：平成 30 年 9 月 26 日

場 所：福山すこやかセンター

参加者：18 人

内 容 1. 研修会「グループホームにおいて重度・高齢化への対応」

・障害福祉サービス等報酬改定

・日中サービス支援型グループホームの創設

・共生型サービスの基準・報酬

・事例紹介および今後の課題

2. その他 情報交換

(3) 時 期：平成 31 年 2 月 8 日

場 所：福山すこやかセンター

参加者：11 人

内 容 1. 研修会「グループホームの現状と課題」

2. 行動援護従業者養成研修について

3. 地域支援部会活動について

4. 平成 31 年度事業計画および平成 30 年度事業総括

2. 東部地区・西部地区ブロック「もみじ会」の開催

(1) 東部地区ブロック「もみじ会」新春の集い

時 期：平成 31 年 1 月 13 日

場 所：福山ニューキャッスルホテル

参加者：150 人

内 容：グループホームの紹介、交流会等

- (2) 西部地区ブロック「もみじ会」ひな祭りの集い
 時 期:平成 31 年 3 月 10 日
 場 所:広島サンプラザ
 参加者:81 人
 内 容:グループホームの紹介、交流会等

3. 研修会の開催

- (1) 広島県知的障害者福祉協会居宅介護従事者養成研修
 (行動援護従事者養成研修課程)

時 期:平成 31 年 1 月 25 日・26 日, 2 月 14 日・15 日 【4 日間】

場 所:福山すこやかセンター

参加者:34 人

講義 10 時間・演習 14 時間 計 24 時間

		科 目 名	時間数	備考
講 義	1	強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	2.5	基礎研修
	2	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	3.5	基礎研修
	3	強度行動障害がある者へのチーム支援に関する講義	2	実践研修
	4	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義	2	実践研修
演 習	1	基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1	基礎研修
	2	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	2.5	基礎研修
	3	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	2.5	基礎研修
	4	障害特性の理解とアセスメントに関する演習	2.5	実践研修
	5	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3.5	実践研修
	6	記録に基づく支援の評価に関する演習	1	実践研修
	7	危機対応と虐待防止に関する演習	1	実践研修

事業総括

今年度、地域支援部会として世話人、生活支援員、ヘルパーの基本とも言える「意思決定支援」や新たに創設された「日中サービス支援型グループホーム」の研修を重ねてきた。十分とは言えないまでも、参加していただいた会員の方々には、確認という成果はあったように思われる。

居宅介護従事者養成研修については 34 人の参加があり、継続して次年度も行いたい。

次年度は、事例検討の研修を深め、更なるスキルアップを目指したい。

■相談支援部会

方針：障害者総合支援法・児童福祉法の改正により、平成 30 年度から平成 31 年度にかけて、現行の制度の改正及び新たな制度が施行されます。相談支援専門員は、これらの改正や新制度について、相談者への説明や、適切に障害福祉サービス等の調整をするために、理解を深めることが必須です。

本年度も、相談支援専門員の質の向上とスキルアップを目的として、相談支援の専門研修を県内全ての相談支援専門員を対象に実施するとともに、相談支援専門員同士の連携強化に取り組めます。

1. 相談支援定例部会

【第 1 回】

期 日：平成 30 年 4 月 26 日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：13 人

内 容：議題 1 自己紹介

議題 2 平成 30 年度部会活動及び研修会について

議題 3 報酬改定及び加算等について意見交換

議題 4 情報交換（今後の制度方針情報・各地域・事業所他）

【第 2 回】

期 日：平成 30 年 6 月 6 日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：14 人

内 容：議題 1 第 1・2 回研修会（広島及び福山会場）の内容及び
日程調整

議題 2 情報交換（加算の取得状況・各地域・事業所の災害
について報告他）及び事例検討

【第 3 回】

期 日：平成 30 年 8 月 20 日

会 場：広島県社会福祉会館会議室 8

参加者：14 人

内 容：議題 1 研修会（広島及び福山会場）の具体的内容について

議題 2 情報交換（加算の取得状況・各地域・事業所他）

【第 4 回】

期 日：平成 30 年 10 月 25 日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：13 人

内 容：議題 1 研修会（広島会場）の振り返りとアンケート結果報告

議題 2 研修会（福山会場）の役割分担について

議題 3 情報交換（加算取得状況・各地域・事業所他）

【第 5 回】

期 日：平成 30 年 12 月 21 日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：15 人

内 容：議題 1 研修会（福山会場）の振り返りとアンケート結果報告

議題 2 中国地区知的障害者関係施設長会議相談支援分科会
の内容検討

議題 3 情報交換（加算取得状況・各地域・事業所他）

2. 部会総括会議

期 日：平成 31 年 2 月 8 日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：13 人

内 容：議題 1 中国地区知的障害者関係施設長会議相談支援分科会
の内容及び役割分担

議題 2 平成 30 年度相談支援部会活動の振り返り

議題 3 平成 31 年度事業計画案について協議・検討

議題 4 情報交換（加算取得状況・各地域・事業所他）

3. 相談支援部会研修会

【第 1 回】

期 日：平成 30 年 8 月 31 日

会 場：広島市南区民文化センター

参加者：100 名

【第 2 回】

期 日：平成 30 年 11 月 9 日

会 場：福山市ものづくり交流館

参加者：50 名

内 容：「相談支援専門員に求められる専門性と相談支援事業所の安
定した事業運営について」

講師 富岡貴生 氏

（特定非営利活動法人かながわケアマネジメント従事者
ネットワーク理事長、社会福祉法人唐池学園貴志園施
設長、日本知的障害者福祉協会相談支援部会副会長）

【第3回】

期 日：平成30年12月21日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：15名（相談支援部会内研修）

内 容：「東広島市における地域生活支援事業の取組みについて」

講師 田中栄至 氏

（社会福祉法人六方学園施設長）

中島 武 氏

（社会福祉法人六方学園相談支援専門員）

事業総括

平成30年度は報酬改定があり、相談支援事業は特定事業所加算や質の高い相談支援に対する加算が創設された。このことにより、相談支援事業所の自立した運営が見込まれるようになり、平成30年度の研修では、改めて相談支援専門員の役割を確認するとともに、事業所の自立した運営を目的として、県内2箇所で開催した。（県内の相談支援専門員、150人が受講）

また、知的障害者福祉協会相談支援部会内で、各地区で整備していく上での参考とするために、地域生活支援拠点についての研修会を開催した。

平成30年度は、西日本豪雨災害があり、被災した障害者支援を行う中で見えてきた課題や成果を今後に活かすことができるように相談支援部会の定例会で意見交換を実施した。

次年度も、相談支援事業に求められるニーズを的確に捉え、有効な研修会が開催できるよう取り組む。

■支援スタッフ部会

方針：知的な障害のある方々に、最も身近に支援にかかわる私達支援スタッフは、サービス提供における必要な視点をお互いに確認しながら、資質の向上に努める。

多くの支援スタッフが参加できる圏域会議の開催を重点目標とする。支援情報の交換やサービス提供の実地見学等を通して支援技術等の向上に努める。多くの知的な障害のある方々の生き方の支えになる取り組みをおこなう。

1. 支援スタッフ部会活動

(1) 第1回支援スタッフ部会議

期 日：平成30年6月20日

会 場：広島県立障害者療育支援センター 障害者支援施設 松陽寮

参加者：32人

内 容：①支援スタッフ部会の活動について

②施設見学（松陽寮）

③グループワーク（適切な支援に向けての検証）

④理事会報告

(2) 第2回支援スタッフ部会議

期 日：平成30年10月23日

会 場：障害者支援施設 光清学園

参加者：26人

内 容：①施設見学（光清学園）

②アイマスク体験

③理事会報告

(3) 第3回支援スタッフ部会議

期 日：平成31年1月24日

会 場：福山市体育館 鞆の津ミュージアム

参加者：24人

内 容：①施設見学（鞆の津ミュージアム作品展『かたどりの法則』）

②障害者スポーツボッチャ体験

③グループワーク（ボッチャルールについての検討）

④理事会報告

(4) 第4回支援スタッフ部会議

期 日：平成31年2月25日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：27人

内 容：①グループワーク（私たちの仕事とは）

②理事会報告

2. 保健福祉圏域活動

(1) 第1回福山・府中保健福祉圏域会議

期 日：平成30年9月26日

会 場：社会福祉法人静和会 大日学園

参加者：25人

内 容：①やわらか食工房試食会グループワーク『権利擁護について』
②障害者スポーツボッチャ体験
③グループワーク（心に残るちょっといい本音の話について）

(2) 第2回福山・府中保健福祉圏域会議

期 日：平成30年12月6日

会 場：社会福祉法人こぶしの村福社会 草笛学園

参加者：23人

内 容：①施設見学（草笛学園）
②研修会「草笛学園の療育で大切にしていること」
草笛学園主任 松岡 佳代先生

(3) 第1回広島中央・呉保健福祉圏域会議

期 日：平成30年12月11日

会 場：六方学園

参加者：10人

内 容：①法人内虐待防止研修への参加

(4) 第2回広島中央・呉保健福祉圏域会議

期 日：平成31年2月12日

会 場：中国新聞社会事業団 中国芸南学園

参加者：10人

内 容：①施設見学（中国芸南学園）
②情報・意見交換会

(5) 第1回広島・広島西・備北保健福祉圏域会議

期 日：平31年3月27日

会 場：ふれあいライフ原

参加者：19人

内 容：①施設見学
②情報・意見交換会

(6) 第1回尾三保健福祉圏域会議

期 日：平成30年11月8日

会 場：社会福祉法人みどりの町 大和農園

参加者：10人

内 容：①施設見学
②広島県支援スタッフ部会議の内容報告
③講演『発達障害と虐待について』講師 元山 淳 氏

(7) 第2回尾三保健福祉圏域会議

期 日：平成31年2月15日

会 場：社会福祉法人みどりの町 大和農園

参加者：8人

内 容：①広島県支援スタッフ部会議の内容報告

②障害者スポーツボッチャ体験

③講演『不適切ケアとリスクマネジメント』

講師 吉岡 俊昭 氏

3. 研修会

期 日：平成31年2月25日

会 場：広島県社会福祉会館

参加者：28人

内 容：講演『福祉・介護業界におけるA I（人工知能）の活用について』

講師：パナソニック株式会社ビジネスイノベーション本部

主幹 太田 公昭 氏

事業総括

施設見学を通して、他施設の取り組みを学ぶことができた。適切な支援に向けての検証、アイマスク体験などを通して、権利擁護に必要な視点の確認、当事者の気持ちを理解するための取り組みを行った。

また、重度高齢化に伴い日中活動の幅が狭くなっているという課題に対して『かたどりの法則』の見学、障害者スポーツボッチャルールの検証を行うことで、日中活動を行う上での新たな可能性の模索につなげることができた。

圏域会議では、各圏域副部長を中心として支援スタッフとして知りたい情報や必要な知識を深めるために施設見学や講演、情報交換会などを開催した。

研修会では、講演『福祉・介護業界におけるA I（人工知能）の活用について』をテーマとして、支援スタッフにしかできない仕事とは何かを再確認することができた。

心に残るちょっといい本音の話の投稿文に対してコメントをすることで、改めて障害福祉で大切なこととは何かを考えることができた。

来年度は引き続き、人権倫理委員会、心に残るちょっといい本音の話編集委員会と連携を図り、支援スタッフの人権に関する資質の向上のために活動を行っていく。

業務部会

■政策・調査・研究部会

方針：障害者福祉に関わる制度等が大きく変わろうとしている中で、それに対応し得る情報収集と検証に努め、会員施設・事業所の状況・課題や意見の集約を図ることで、当協会としての政策提言に繋げていきたい。

また、課題解決のための調査・研究を実施する。特に、広島県身体障害者施設協議会と引き続き連携しながら、「高齢の障害者に対する支援の在り方」などの共通課題についての意見交換や共同での調査・研究活動を進めていく。

1. 「平成 31 年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項」 取りまとめ
時 期：平成 30 年 8 月
場 所：広島県社会福祉会館
2. 「平成 30 年西日本豪雨災害」に関わる広島県への制度及び予算に伴う要望事項取りまとめ
時 期：平成 30 年 9 月
場 所：広島県社会福祉会館
3. 指定共同生活援助の指定基準（立地）の取扱い（案）についての意見聴取
期 日：平成 31 年 2 月
会 場：広島県社会福祉会館

事業総括

「平成 31 年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項」に対する会員事業所から意見・要望等を集約し、広島県知的障害者福祉協会の要望事項として取りまとめた。また、「平成 30 年西日本豪雨災害に関わる広島県への制度及び予算に伴う要望事項」取りまとめについても緊急提言を取りまとめた。

部会会議については県内の多くの会員事業所における豪雨災害での対応に奔走し、定例の部会議を開催することができなかった。併せて、広島県身体障害者施設協議会との連携については、調整不調で実現に至らなかった。今後の連携の必要性についても次年度の課題としたい。

2021 年度次期報酬改定に向けて、日本知的障害者福祉協会の政策・研究部政策委員会での動向を把握し、第 5 期障害福祉計画（平成 30～令和 2 年度）において、地域生活支援拠点等の県内の未整備の市町における課題の抽出、分析、進捗状況などを検証していく必要がある。

■人権・倫理部会

方針：障害者に対する様々な法律が整備される中で、今なお、全国各地で障害者福祉施設の職員等による障害者への虐待事件が後を絶たない状況にあります。

障害者たちと身近に接し、さらに彼らの権利擁護を担うべき職員としては、何故このような事件がなくなるのか、真剣に自分自身に問いかけることが大切ではないかと思います。また、職員自身が気づかない状態で虐待の加害者になる恐れもあり、これらを防止するためには、全ての職員が人権に対する正しい知識と感覚を身につけることが重要であります。

そのために、障害者の権利擁護や虐待防止に関する研修等の啓発活動を積極的に推進し、障害者に対する差別や偏見のない「共生社会」の実現に向けて取り組んで参ります。

1. 人権・倫理研修会(管理者研修)

期 日：平成 30 年 11 月 20 日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：テーマ【改めて、組織として虐待防止法を考える】

①「虐待事例への取り組みについて 一人権擁護と危機管理の観点から」社会福祉法人三矢会 理事長 内田健二 氏

②「障害者虐待防止に係る取り組みについて」

社会福祉法人みどりの町 理事長 岡田雄幸 氏

参加者：55 人

2. 人権・倫理部会会議

【第 1 回】

期 日：平成 30 年 8 月 29 日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：・研修会の開催について

・人権・倫理に関する冊子作成について

・出前講座について 他

参加者：5 人(人権・倫理部会員)

【第 2 回】

期 日：平成 30 年 11 月 20 日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：・研修会について

・人権・倫理に関する冊子作成について 他

参加者：7 人(人権・倫理部会員)

【第3回】

期 日：平成 31 年 2 月 19 日

会 場：広島県社会福祉会館

内 容：・平成 31 年度事業計画について

・人権・倫理に関する冊子作成について 他

参加者：7 人(人権・倫理部会員)

3. 平成 30 年度障害者虐待防止推進会議

期 日：平成 31 年 3 月 5 日

会 場：広島県庁 自治会館会議棟

内 容：・報告(障害者虐待の状況、広島県障害者虐待防止・権利擁護
推進事業についてなど)

・被虐待者の保護や分離に係る入所施設などの情報提供について

参加者：1 人(部会長)

4. 出前講座への講師派遣

2 施設・事業所で実施。

事業総括

職員が人権に対する正しい知識と感覚を身につけることが重要という方針のもと、人権研修会や出前講座の講師派遣などを行った。人権研修会は組織として虐待防止を考え、取り組むことの大切さを学ぶことを狙いに管理者研修として実施したが、多くの参加があり、また参加者から「とてもいい研修だった」との声が多く聞かれた。今後も施設・事業所職員個々の意識・資質の向上と組織としての対応(取り組み)強化のための研修会を実施していきたい。

啓発や施設・事業所内での研修会利用を目的とした人権・倫理に関する冊子の作成作業を部会議で確認しながら行ってきたが、平成 31 年度中の作成・配布には至らなかった。平成 31（令和元）年度中には発行・配布したい。

■ 人材育成・研修部会

方針：平成 30 年度、初めて強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）を実施する。また、元気をはぐくむ職員基礎講座は、平成 30 年度で第 7 回目の研修企画となった。新任・若手職員の研修の場として定着していることと、若手職員による実践発表の場として大きな役割を果たしており、継続した取り組みとしたい。

1. 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

期 日：平成 30 年 11 月 7 日・8 日

会 場：広島県立障害者リハビリテーションセンター
医療センター2 階多目的室

講 師：広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

参加者：72 人

2. 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

期 日：平成 30 年 12 月 5 日・6 日

会 場：広島県立障害者リハビリテーションセンター
医療センター2 階多目的室

講 師：広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

参加者：70 人

3. 第 7 回「元気をはぐくむ、新任職員基礎講座」

期 日：平成 30 年 12 月 21 日

実践発表

【発表者】

①児童入所	六方学園	平原 沙耶 氏
-------	------	---------

②障害者支援施設	友和の里入所部	岡田 泰祐 氏
----------	---------	---------

③日中活動支援	多機能型事業所 ゆめの木・わかば	土井 宏之 氏
---------	------------------	---------

④共同生活援助	障がい者グループホーム いずみ	桑田 真歩 氏
---------	-----------------	---------

グループワーク

やる気スイッチを探そう！

基礎講座

演題：社会福祉施設で働く職員としての心構えと権利擁護

講師：寺尾 文尚氏 社会福祉法人 ひとほ福祉会 理事長
広島県知的障害者福祉協会 監事

参加者 30 人

4. 強度行動障害支援者養成研修（ステップアップ研修）

期 日：平成 31 年 3 月 6 日

(1) 講演

演題：強度行動障害と言われる人の理解と具体的な支援について

講師：社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏

(2) 事例発表

【発表】

① 障害者支援施設 原

② 障害者支援施設 尾道サンホーム

③ 生活介護事業所 みゆき広場

助言者 社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏

参加者 67 人

事業総括

今年度も現場で働くスタッフの職場定着と育成を目指し、元気をはぐくむ新任職員基礎講座を継続して行った。若手職員の実践発表において、他の事業所における取組みや発表者の職務への姿勢、悩み等を新任職員の方に聴いて頂いた。今年度は、新たに、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）と強度行動障害支援者養成研修（ステップアップ研修）を行った。基礎研修・実践研修では、参加者からステップアップ研修の希望が多く寄せられた。そのため、強度行動障害支援者養成研修（ステップアップ研修）を開催し、社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長松上利男氏の講演、三事業所の取り組みの紹介を行い、松上理事長の助言を頂いた。今後も、現場職員の専門性を高める研修に取り組んでいきたい。

■事業部会

方針：文化・芸術活動の部

障害のある人たちの文化・芸術の振興を図るために、会員事業所から生まれる障害のある人たちの作品や様々な活動を紹介し、このことに携わる会員スタッフ（専門支援者）の育成を図る。また、広島県主催の「あいサポート・アート展」「あいサポートふれあいコンサート」開催に参画し、ひいては、東京オリンピックで併催される文化芸術の部へ参加を目指し研鑽する。また、障害のある人たちの権利擁護と会員の資質向上を目的に「心に残るちょっといい本音の話」（第11集）を発行する。

1. 研修会・作品展開催に向けて

（1）第1回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

日時：平成30年4月18日

会場：広島県社会福祉会館

内容：第3回「わたしは花」展・第5回「どや、〇〇じゃろ！」展
研修会開催・先進地視察について

地区代表：西部：ひとは福祉会・光清学園 中部：野呂山学園

東部：創樹会

圏域委員：広島：太田川学園 広島中央：西志和農園

福山・府中：「ゼノ」少年牧場・大日学園

呉：かしの木 尾三：若葉

備北：庄原もみじ園 事務局：大日学園

（2）第2回実行委員会

日時：平成30年6月13日

会場：広島県社会福祉会館

内容：パトリック・ギゲール氏講演会に伴う役割分担について
（司会・案内板・情宣活動 他）

第3回「わたしは花」展・第5回「どや、〇〇じゃろ！」展
進捗状況について（開催日時・会場・作品募集 他）

（3）第3回実行委員会

日時：平成30年7月18日

会場：広島県社会福祉会館

内容：パトリック・ギゲール氏講演会に伴う役割分担について

(司会・案内板・情宣活動 他)

第3回「わたしは花」展・第5回「どや、〇〇じゃろ！」展
進捗状況について(開催日時・会場・作品募集 他)
先進地視察について(鹿児島県：しょうぶ学園)

(4) 第4回実行委員会

日時：平成30年10月3日

会場：さをりひろば工房まち

内容：パトリック・ギゲール氏講演会の報告及び反省点について

第3回「わたしは花」展・第5回「どや、〇〇じゃろ！」展
報告及び反省点について

先進地視察について(鹿児島県：しょうぶ学園)

(5) 第5回実行委員会

日時：平成31年2月6日

会場：広島県社会福祉会館(地域福祉センター4階)

内容：視察研修会アンケート集計及び会計報告について

平成30年度事業報告と平成31年度事業計画について

(6) 第3回「わたしは花」展 開催

日時：平成30年8月2日～8日7日

会場：宮島・ギャラリー宮郷

第5回「どや、〇〇じゃろ！」開催

日時：平成30年9月9日～9日24日

会場：鞆の津ミュージアム

(7) 先進地視察研修会

日時：平成30年12月5日～12月7日

会場：鹿児島・しょうぶ学園

内容：様々な文化活動の実践を視察研修する

2. 「心に残るちょっといい本音の話」第11集の発行

編集委員 寺尾文尚・原口 真・彌政慎一・本廣義紀・平岡辰士・
西崎弘史・西山堅太郎 支援スタッフ部会

編集会議：平成30年4月11日・平成31年2月6日・4月3日

原稿募集：平成30年10月1日より12月31日

発行・配布：令和元年 5 月 令和元年度第 1 回総会で配布する

3. 広島県主催の あいサポートアート展及びあいサポートふれあい
コンサート開催に協力・参加
作品審査 作品展示作業協力 作品展会場係

あいサポートアート展

日時：平成 30 年 10 月 30 日～11 日 4 日

会場：広島県立美術館 地下 1 階県民ギャラリー

日時：平成 30 年 11 月 27 日～12 月 2 日

会場：ふくやま美術館 1 階ギャラリー・ホール

あいサポートふれあいコンサート

日時：平成 30 年 9 月 9 日

会場：福山市神辺文化会館ホール

事業総括

昨年に引き続き 2 度の作品展には多彩な作品も増え、出展数も多くなり、会員施設のみならず一般来館者や海外からの観光客の来館も多くなってきた。また、県外研修で訪れた鹿児島県：しょうぶ学園では生産活動に加え創作活動にも大きな規模で取り組まれ、法人・事業所の開放的でエネルギーな運営には参加者に大変大きな驚きと刺激を与えたようだ。また、夏に開催したパトリック・ギゲール氏の「世界のアール・ブリュット」の講演は他団体を含め大きな学習の機会にもなり、会員施設の利用者アーティストの作品が昨年度に引き続きパリでのアール・ブリュット ジャポネ展に招聘されるなど海外への思いが高まった年度でもあった。（パトリック・ギゲール氏講演会については開催協力金を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。）

「心に残るちょっといい本音の話」は第 11 集の発行を終えたが、投稿数が伸び悩み、支援スタッフ部会の協力を得てコメントを付けるなど工夫は続けたものの、今後の在り方について検討を要する時代を迎えているようだ。県主催のあいサポートアート展・ふれあいコンサートにも昨年度同様 作品審査・展示作業・会場整理・広報などの協力を行った。

■事業部会

方針：スポーツの部

スポーツを通して障がいのある人たちの健康増進と交流を目的とし、
各種スポーツ大会を開催する。

広島県障害者スポーツ協会との連携を図る。

1. 広島県障害者陸上競技大会

(1) 第12回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期：平成30年4月24日

場所：広島県立体育館 大会議室

内容：実行委員交代、大会設置要綱の改正

競技種目及び参加選手状況

大会及び競技の進め方等についての協議

(2) 第12回 広島県障害者陸上競技大会

時期：平成30年5月13日

場所：東広島運動公園陸上競技場

※大雨のため競技大会の途中で中止

(3) 第12回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期：平成30年6月7日

場所：広島県庁自治会館302会議室

内容：反省会及び全国障害者スポーツ大会についての協議

(4) 第13回 広島県障害者陸上競技大会 実行委員会

時期：平成31年1月30日

場所：広島県庁 会議室

内容：実施要項（案）、収支予算（案）についての協議

2. 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」

☆ ソフトボール競技 優勝 ☆

(1) 第18回全国障害者スポーツ大会

ソフトボール競技 中国・四国ブロック予選会

時期：平成30年5月5日～5月6日

場所：維新百年記念公園

(2) 第18回全国障害者スポーツ大会

「福井しあわせ元気大会」への参加

時期：平成30年10月13日～10月15日

場所：福井県営陸上競技場（開・閉会式、陸上競技）他

3. 知的障害関係施設親善球技大会（3ブロック）の実施

（西部）時期：平成 30 年 5 月 20 日

場所：吉田運動公園 （参加者 379 人）

（中部）時期：平成 30 年 6 月 9 日

場所：東広島運動公園 （参加者 848 人）

（東部）時期：平成 30 年 6 月 3 日

場所：広島県立びんご運動公園 （参加者 1,378 人）

4. 第 58 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「岡山大会」

（1）中国地区親善球技大会各県代表者会議

時期：平成 30 年 7 月 6 日

場所：岡山県総合グラウンド 体育館 会議室

（2）第 58 回中国地区知的障害者関係施設親善球技大会への参加

時期：平成 30 年 9 月 24 日

場所：岡山県総合グラウンド・体育館

フェアレーン岡山

5. 平成 30 年 ボウリンピック i n 福山

時期：平成 30 年 12 月 8 日

場所：福山パークレーン

事業総括

計画通り実施できました。

ソフトボール競技において、全国大会優勝することができました。

親善球技大会の新競技「ボッチャ」の普及がすすんできました。

これからも広島県障害者スポーツ協会との連携を密に事業活動実施する。

■総務部会

方針：広島県知的障害者福祉協会の会員施設に有益な情報を発信するために、引き続きホームページを充実させると共に、メーリングリストやFAXによる情報提供の活用を行い、協会の活性化に努める。また、継続して各支援部会や各福祉圏域内での情報や意見交換の推進を担うことを役割として、予算管理や調整を図る。

さらに会員施設の各活動の推進として、必要に応じて広島県主催の行事等において役割を担い、有益性のある情報発信に努める。

(協会の紹介パネルの作成を検討したい)

1. 総務部会

期 日：平成 30 年 4 月 24 日

会 場：広島県社会福祉会館 会議室

参加者：2 人

内 容：平成 30 年度事業計画について

2. ホームページの更新

期 日：随時（年間）

内 容：事業計画・事業報告・予算、決算報告、協会主催の研修案内、作品及び原稿等の募集、行事等

3. 広島県主催の「介護の日」実行委員会の参加

期 日：平成 30 年 5 月～12 月

内 容：会議の参加、開催日の役員と出店調整等

4. 第 1 回総会・研修会の実施

期 日：平成 30 年 5 月 25 日

会 場：広島ガーデンパレス

参加者：125 人

内 容：「地域共生社会と障害福祉」

講 師：中四国厚生局 局長 片岡 佳和 氏

5. 第 2 回総会・研修会の実施

期 日：平成 31 年 3 月 12 日

会 場：広島ガーデンパレス

参加者：126 人

内 容：「障害福祉施設における働き方改革への対応」

講 師：岡山大学大学院法務研究科（法科大学院）

副研究科長・教授 西田 和弘 氏

6. 圏域会議の推進

福山・府中圏域

期 日：平成 30 年 8 月～平成 31 年 2 月まで 4 回開催

会 場：福山すこやかセンター等

内 容：広島県知的障害者福祉協会活動報告

圏域の活動について、情報交換

広島圏域・広島西圏域と合同

期 日：平成 30 年 8 月 17 日、12 月 19 日 2 回開催

会 場：広島市手をつなぐ育成会

内 容：親善球技大会、情勢等意見交換等

尾三圏域

期 日：平成 30 年 8 月 28 日、平成 31 年 3 月 1 日 2 回開催

会 場：因島であいの家

内 容：情報交換等

事業総括

広島県知的障害者福祉協会ホームページの随時更新やさらに内容の充実に努めながら、身近なホームページとして活用してもらえるように会員専用ページを創設したり、日本知的障害者福祉協会や国の動向等の情報発信や会員間の情報提供をメーリングリストを活用しながら、周知の徹底を図ることに努めた。

総会における研修は、会員のニーズに応える研修内容を吟味しながら開催した。

「介護の日フェスタ」のワーキングや広島県主催の行事等において役割を担い、啓発活動にも積極的に参加した。

圏域会議の予算管理だけではなく、会議内容についての情報共有など圏域活動の活性化につながる取り組みが求められている。

紹介パネルの作成については、検討することができなかった。